




整理番号	HT29134	分野	化学	キーワード	化学合成、感光性材料、半導体
------	---------	----	----	-------	----------------

研究機関名	神奈川大学				
プログラム名	光で変化する材料の化学と最新のプリント技術に触れる				
先生(代表者)	山口 和夫(やまぐち かずお) 理学部・教授				
自己紹介	<p>1, 2 年生に有機化学、3 年生に高分子を教えています。4 年生、大学院生には研究の指導をしながら、酒の飲み方も教えています。高校生の中には分子生物学に興味を持っていましたが、化学科に進学し、生物に関連する分野を研究しています。“継続は力なり”がモットーです。</p> <p>(http://professor.kanagawa-u.ac.jp/sci/chemistry/prof06.html)</p>				
開催日時・募集対象	平成 29 年 7 月 16 日(日)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	40 名
集合場所・時間	神奈川大学湘南ひらつかキャンパス 6号館	(集合時間)	10 時 30 分		
開催会場	神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 住所: 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋 2946 アクセスマップ URL: http://www.kanagawa-u.ac.jp/access/shonan_hiratsuka/				
内 容					
<p>21 世紀は光の時代といわれています。環境にやさしいエネルギーだからです。その光を感じる材料-感光性材料は、コンピュータの頭脳である半導体の製造プロセスなどに使われています。この感光性材料の実験を体験してみませんか。右図は、感光性材料のフィルムに LINE のスタンプのフォトマスクを被せて露光したものです。この体験を通じて、化学の楽しさ、素晴らしさを実感してください。</p>					
					
			スタンプの露光像	フォトマスク	
スケジュール			持 ち 物		
10:30-11:00	受付(湘南ひらつかキャンパス6号館228講義室)		筆記用具		
11:00-11:15	開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)				
11:15-12:00	講義「感光性材料の歴史」				
12:00-13:00	昼食		特 記 事 項		
13:00-14:00	実験1(シリコンウェハを使った実験)		化学実験を行なうので、実験をしやすく安全な服装と履物で来てもらいます。髪が長い場合は結んでください。		
14:00-14:30	休憩・クッキータイム				
14:30-15:30	実験2(感光性フィルムを使った実験)				
15:30-16:00	修了式(アンケート記入・未来博士号授与)				
16:00	解散				

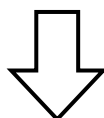
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	神奈川県 平塚研究支援課・小川 初女
住所：	〒259-1293 神奈川県平塚市土屋 2946
TEL 番号：	0463-59-4111（内線 3023）
FAX 番号：	0463-58-9688
E-mail：	hiraken-soudan@kanagawa-u.ac.jp
申込締切日：	平成29年 7 月 3 日(月)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月6日(木)までに郵便（またはメール）にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生（代表者）の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
山口 和夫	H22-24	基盤研究(C)	22550114	感光性自己組織化単分子膜の高機能化と有機薄膜トランジスタ作製への応用



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。